

# 事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名	コード	4510	定住促進奨励金交付事業	予算科目	会計	一般	款	2	項	1	目	10	担当班	政策推進班	
施策体系	基本施策	15	定住の促進	根拠法令	旭市定住促進奨励金交付要綱								事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業(重点施策) 重3	
	施策の展開	31	定住促進対策の推進	戦略事業	145	定住促進奨励金交付事業									<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画
	施策の展開			戦略事業											<input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画
															<input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想
															<input type="checkbox"/> 主要事業

## (1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する。行政用語は使わない				
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 25 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	今後、さらなる人口減少が予測され、経済の停滞や本市の財政運営への影響等が懸念されることから、定住人口を確保する必要がある。そのため、定住支援策の一環として、定住を目的に新たに本市へ転入し、新築住宅の建設・購入及び中古住宅を購入した人に対し、移住費用の一部として定住促進奨励金を最大150万円交付する。				
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等			
本市の人口構造は、転出数が転入数を上回る転出超過となっており、定住人口の確保のため、定住促進奨励金の交付を開始した。平成31年度に奨励金を増額した。	定住促進奨励金の制度を市外へPRすることが課題である。	奨励金を申請した方からは、新生活の準備に大変助かる等の声がある。			

## (2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算) 単位:千円	
1.負担金補助及び交付金	32,930 定住促進奨励金
② 特定財源の内訳(2年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	
2.都道府県支出金	
3.地方債	
4.その他	32,930 地域振興基金

費目内訳	単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
1. 負担金補助及び交付金	千円	21,000	26,100	28,800	32,930	32,600
事業費計 (A)						
1. 国庫支出金	千円					
2. 都道府県支出金	千円					
3. 地方債	千円					
4. その他	千円	21,000	24,900	28,800	32,930	32,600
5. 一般財源	千円		1,200			

前年度増減理由	交付金が増加される若年夫婦世帯の申請件数増加による
---------	---------------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

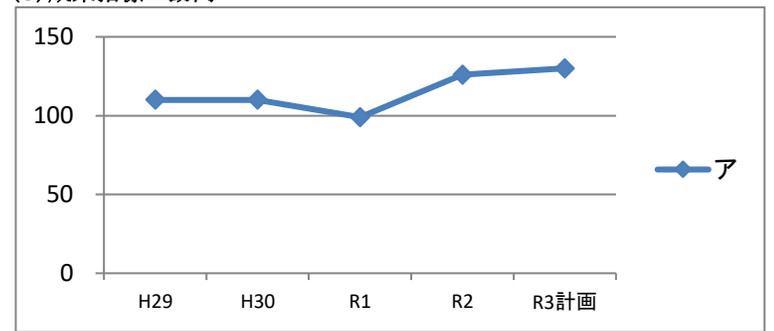
## (3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 定住促進奨励金の交付	ア 定住奨励金の交付件数	件	42	42	41	47	43
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	対象意図 市外在住者 定住促進奨励金を利用し、本市に転入する。	ア 転入者(定住促進奨励金利用)	人	110	110	99	126	130

## (4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	コスト比率 下位 1/3
	普通	ある程度ある	中位 1/3
	小さい	ほとんどない	上位 1/3
		評価結果	①
			②
			③
			④⑤
			⑥
			⑦⑧
			⑨

## (5) 成果指標の動向



## (6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> 概ね順調	<input type="checkbox"/> 停滞	<input type="checkbox"/> 実施困難							
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)												
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	<input type="checkbox"/> 向上	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 低下	比較	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標ア	成果指標イ		<input type="checkbox"/> 向上	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 低下	成果動向	29年度	30年度	1年度	2年度	3計画
							ア	Δ14	0	Δ11	27	4
							イ					
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 見直し					
	通年 11月～12月	定住促進奨励金の交付 既交付者に対する追跡調査		通年11月～12月 定住促進奨励金の交付 既交付者に対する追跡調査	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> その他( )					